

相談 かかりつけ医 男性患者

森下：あ、看護婦さん！

水野：はい、どうされましたか。

森下：あのよ、先生あすけどよ、ちがるんでねな。

水野：なに違うってえ。あれ、えっと、森下さんだが、今先生から説明してもらった、森下さんだよ。どしたの。

森下：んだ。いやあ、あのよ、ガンってしゃべらいでもよ、どごもなんもいでぐねえしよ、ピンピンしちゅうしよ。まちがいでねが。

水野：んだよな、皆そう思うんだよねえ。んでもさ、健康診断、せっかく健康診断して、ちょっとこう、あれって言うどご見つかって、これがら、まださ、ちゃんと検査する予定でせっかく来たんだはんで。どっちにしても、症状、いだいとかさ、なんがあってがらだば、結構進んでること多いんだよお。

森下：それだばそいだけでもよ。信じらいねんだいな。

水野：今まで吐き気とか、食べられないとか、そういうことはあったがあ。

森下：いや、なんもねえ。

水野：なんもねえの。

森下：したどごでよお。まあなあ、ほんとだべがど思ってな。

水野：お酒とかは、飲んでらが。

森下：まあ、飲むには飲むけんども、そうまだよげ飲んじゅうわけでもねしな。

水野：あとさ、例えば兄弟とか、親の、森下さんのご両親とかでさ、例えば、そういう悪い病気になったとか、そういう人いないがあ。

森下：ううん、ちぢおやガンで死んだけんども、そい年だはんでな。

水野：ま、でも今、やっぱりそういう病気も多いがら、ま、早く、ちょっと、早い段階でちょっと見つかったがら、これがらちゃんと検査、詳しくして、まあ手術なり、まあ、その先生に任せて、決めていった方が良くいと思うよ。

森下：うん、わがった。どうも、ひゃあ、よろしく頼むでや。

水野：またね、何か心配なことあったら、何かまた聞いて下さい。私達で聞けること聞き、また先生にも話してみるからね。うん、せば、また。失礼します。

森下：どうもどうも。